

西部北太平洋におけるデメエソの生活史と発達

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-11-28
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 岡本, 誠
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012372

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



西部北太平洋におけるデメエソの生活史と発達

混合域海洋環境部
特別研究員 岡本 誠

研究の背景・目的

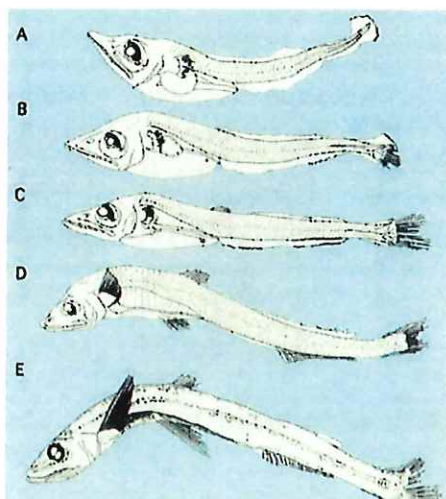
1. 中深層性魚類の一種、デメエソ *Benthalbella linguidens* の仔稚魚期における形態的特徴と同属種との識別形質に関する基礎的知見の蓄積
2. 各成長段階における分布特性から、産卵場や成育場を推定
3. MOCNESS（多段開閉式ネット）の採集データから鉛直分布の特性を把握

研究成果

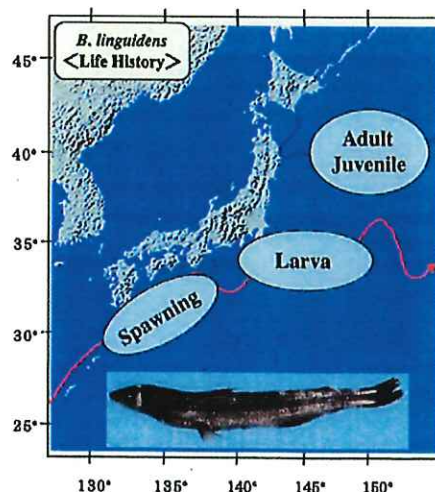
1. 筋節数などの形質で類似種との識別が可能、変態期は体長約9cmで同属種内では大型になることが判明
2. 鉛直分布の中心は50-300m、明瞭な鉛直移動は認められないが、夜間、一部の個体が50m以浅にも出現し、オキアミ類、ヤムシなどを捕食
3. 仔魚は冬期の黒潮域、稚魚と変態期稚魚は春期以降の移行域に出現し、成魚は黒潮域へと産卵回遊を行っている可能性がある

波及効果

1. デメエソ仔稚魚の発達に伴う形質の特性が明らかになり、調査海域の種組成に関する研究へ利用可能
2. 鉛直分布や餌生物の特徴から同海域に生息する重要魚種との競合の有無
3. 浮き魚のみならず中深層性魚類の回遊機構に関する研究の進展



デメエソの仔稚魚（上から 7.2 mm, 14.5 mm, 18.5 mm, 75.3 mm, 89.7 mm）



北西太平洋におけるデメエソの生活史